

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

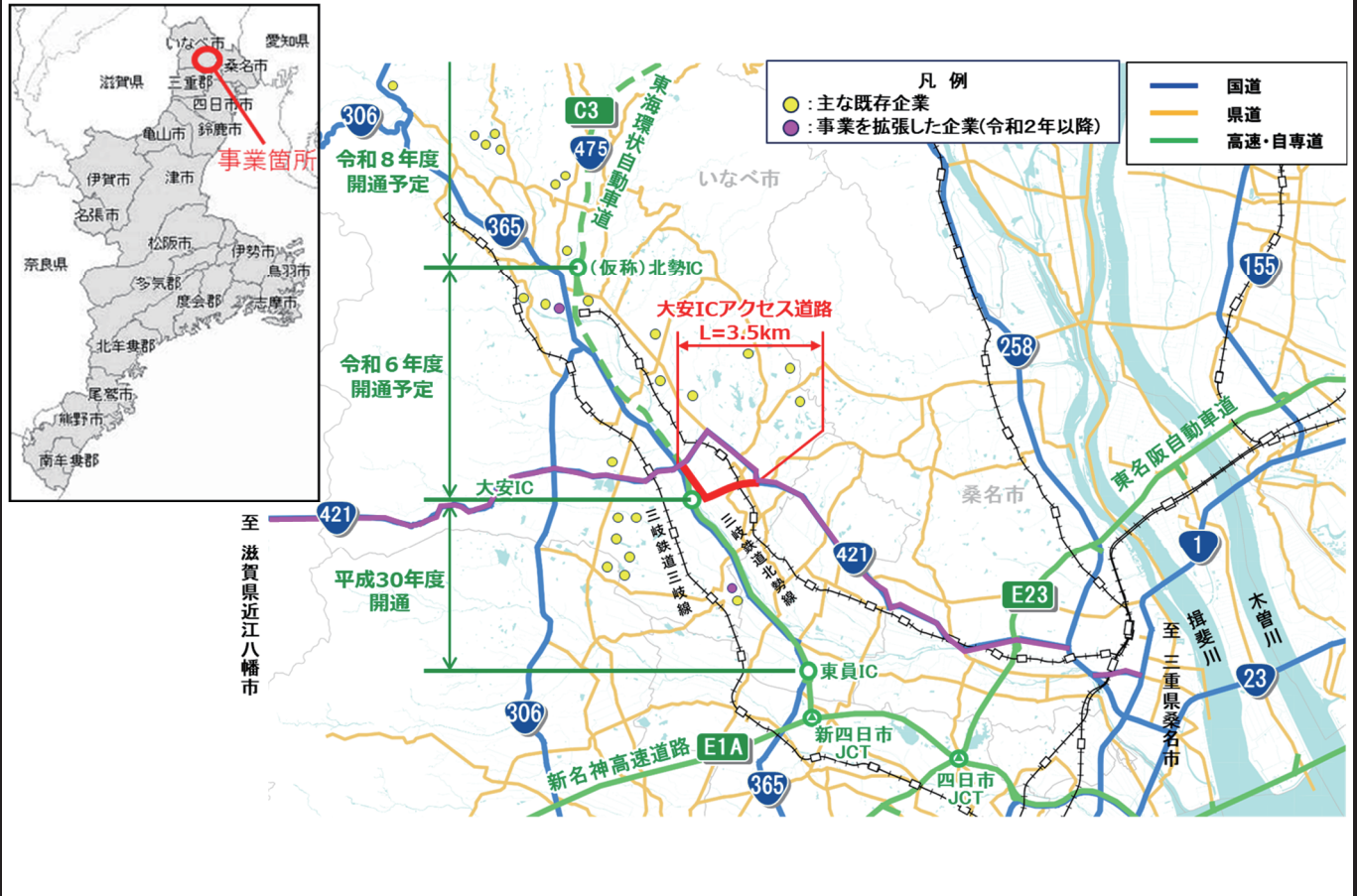
担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名	高規格ICアクセス 一般国道421号 <small>だいたん</small> 大安ICアクセス道路	事業区分	一般国道	事業主体	三重県
起終点	自：三重県いなべ市員弁町大泉新田 <small>いなべ おおいずみしんてん</small> 至：三重県いなべ市大安町高柳 <small>だいたん たかやなぎ</small>			延長	3.5km
事業概要					
<p>一般国道421号は、桑名市三ツ矢橋を起点とし、いなべ市を経て、滋賀県近江八幡市に至る延長約72kmの幹線道路で、東海環状自動車道の大安ICへ二級河川員弁川を渡河しアクセスするための機能を担っている。当該事業は、二級河川員弁川を渡河する三笠橋で慢性的に発生している渋滞の緩和と、大安ICまでのアクセス時間の短縮等を目的とし、いなべ市員弁町大泉新田～いなべ市大安町高柳までの延長約3.5kmを整備するものである。</p>					
H24年度事業化		S58年度都市計画決定 (計画変更：平成19年度)		H24年度用地着手	
H26年度工事着手					
全体事業費	約62億円	事業進捗率	約73%	供用済延長	— km
計画交通量	9,188台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 3.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 20/64億円 事業費：19/62億円 維持管理費：1.5/1.5億円 更新費：0/0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 217/217億円 走行時間短縮便益：197/197億円 走行経費減少便益：19/19億円 交通事故減少便益：1.3/1.3億円	基準年 令和5年	
	(残事業) 10.8				
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=3.1～3.7 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=9.7～11.9 (交通量±10%) 事業費：B/C=3.1～3.7 (事業費±10%) 事業費：B/C=8.6～14.7 (事業費±10%) 事業期間：B/C=3.0～3.5 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=10.0～11.2 (事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・いなべ市内の産業拠点から大安ICへのアクセス向上が図られる。 ・現道と合わせ緊急時の輸送路として防災機能の強化が図られる。 ・いなべ市周辺の観光地へのアクセス性向上により地域観光産業の活性化が図られる。 					
関係する地方公共団体等の意見					
令和元年8月に「三重県市長会」から提出された三重県への要望で、一般国道421号大安インターアクセス道路の早期完成を強く要望されている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に東海環状自動車道 東員IC～新四日市JCTが開通 ・平成30年度に東海環状自動車道 大安IC～東員ICが開通 					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約100%、事業進捗率約73% 残事業の内容（道路工2,200m、舗装工3,500m）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
引き続き、早期開通に向けて事業を進める。					
施設の構造や工法の変更等					
<ul style="list-style-type: none"> ・主要構造物である橋梁について、桁材に耐候性鋼材を使用することで塗装が不要となり、維持管理費の縮減を図っている ・道路法面の一部に張コンクリートを行うことで、視距の確保と維持管理における除草費の縮減を図っている 					
対応方針	事業継続				

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。